



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月8日
東

上場会社名 株式会社オーハシテクニカ 上場取引所
 コード番号 7628 URL <https://www.ohashi.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柴崎 衛
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 中村 佳二 (TEL) 03-5404-4420
 四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	9,278	12.1	353	△36.5	397	△37.5	△23	—
2023年3月期第1四半期	8,276	△4.3	557	△26.2	635	△25.4	452	△25.2

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 481百万円(△70.8%) 2023年3月期第1四半期 1,648百万円(3.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第1四半期	円 銭 △1.71	円 銭 —
2023年3月期第1四半期	33.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第1四半期	百万円 44,115	百万円 35,655	% 79.8
2023年3月期	43,649	35,565	80.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 35,213百万円 2023年3月期 35,139百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 28.00	円 銭 —	円 銭 29.00	円 銭 57.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	37,500	7.2	2,250	9.1	2,500	4.3	1,500	111.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期1Q	13,678,960株	2023年3月期	13,678,960株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	215,790株	2023年3月期	215,664株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期1Q	13,463,232株	2023年3月期1Q	13,631,191株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用に当たっては、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8
3. その他	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が弱まり、経済活動の正常化が進んだ一方、ロシアのウクライナ侵攻による資源価格・エネルギー価格の高騰と消費者物価の上昇等により、引き続き先行き不透明な情勢が続きました。

当社グループの事業分野であります自動車業界におきましては、半導体不足等の緩和に伴い、自動車メーカーの生産調整は徐々に解消しつつあり、日系自動車メーカーのグローバル生産台数は前年を上回る実績となりました。

このような環境下、当社グループは「中期経営計画～Mission 2025～」の2年目として、グループの4つの機能である開発機能、製造機能、調達機能、グローバル機能の一層の強化による「経済的価値の追求」と、環境・社会・ガバナンスの重要課題における「社会的価値の創造」に資する具体的施策を掲げ、活動を推進しております。

こうした中、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は、一部商用車メーカーの減産継続の影響があったものの、主要得意先自動車メーカーの生産回復、及び新規受注品の売上寄与や円安に伴う為替換算のプラス影響もあり、9,278百万円(前年同期比12.1%増)となりました。一方、連結営業利益については、仕入価格・原材料価格の高騰と中国における売上減少の影響が大きく、353百万円(同36.5%減)となりました。また、経常利益は397百万円(同37.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失は、海外子会社における資金流出事案による特別損失を計上したことから、23百万円(前年同期は、親会社株主に帰属する四半期純利益452百万円)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。(セグメント売上高は、外部顧客に対するものであり、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。)

[日本]

一部商用車メーカーの減産継続の影響があったものの、主要得意先自動車メーカーの生産回復、及び新規受注品の売上寄与により、売上高は4,509百万円(前年同期比10.4%増)となりました。セグメント利益は、売上の増加はありましたが、仕入価格・原材料価格の高騰と人材関連費用の増加等により、76百万円(同49.0%減)となりました。

[米州]

主要得意先自動車メーカーの生産回復と新規受注品の売上寄与や円安に伴う為替換算のプラス影響により、売上高は2,786百万円(前年同期比55.5%増)となりました。セグメント利益は、売上の増加はありましたが、仕入価格・原材料価格の高騰と人材関連費用の増加等により、60百万円(前年同期比27.9%減)となりました。

[中国]

自動車販売台数に占める地場メーカーによるEV車・PHV車の比率が急速に高まり、エンジン車、HV車が主力の日系自動車メーカーの生産、販売が低迷し、売上高は835百万円(前年同期比39.5%減)となりました。セグメント利益は、売上減少の影響が大きく、0百万円(同99.8%減)となりました。

[アセアン]

新規受注品の売上寄与や円安に伴う為替換算のプラス影響により、売上高は782百万円(前年同期比8.5%増)となりました。セグメント利益は、製造原価の上昇により、96百万円(前年同期比2.7%減)となりました。

[欧州]

主要得意先自動車メーカーの生産回復と新規受注品の売上寄与や円安に伴う為替換算のプラス影響により、売上高は364百万円(前年同期比22.3%増)となりました。セグメント利益は、仕入原価の上昇により、1百万円(同97.8%減)となりました。

[台湾]

台湾大橋精密股份有限公司は、グループ間取引のみのため、外部顧客への売上高はありません。

グループ会社向けの輸出は増加しましたが、セグメント利益は、輸出条件の見直し等により、8百万円(前年同期比32.7%減)となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月11日の「2023年3月期決算短信」で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,820,308	19,797,488
受取手形、売掛金及び契約資産	7,313,682	7,900,578
商品及び製品	5,548,121	5,212,498
仕掛品	704,384	680,570
原材料及び貯蔵品	1,080,448	1,070,154
その他	414,062	410,688
貸倒引当金	△9,891	△12,925
流動資産合計	34,871,115	35,059,052
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,378,560	5,524,648
減価償却累計額	△2,990,137	△3,088,034
建物及び構築物(純額)	2,388,423	2,436,613
機械装置及び運搬具	9,664,542	9,788,873
減価償却累計額	△8,117,400	△8,239,252
機械装置及び運搬具(純額)	1,547,142	1,549,621
工具、器具及び備品	3,886,499	3,967,584
減価償却累計額	△3,518,449	△3,565,532
工具、器具及び備品(純額)	368,050	402,051
土地	1,359,355	1,372,015
建設仮勘定	417,696	459,636
有形固定資産合計	6,080,667	6,219,939
無形固定資産		
ソフトウェア	71,752	69,565
その他	54,194	54,850
無形固定資産合計	125,947	124,416
投資その他の資産		
投資有価証券	1,884,983	2,067,409
繰延税金資産	192,121	149,946
その他	496,067	496,105
貸倒引当金	△1,100	△1,100
投資その他の資産合計	2,572,072	2,712,361
固定資産合計	8,778,687	9,056,716
資産合計	43,649,803	44,115,769

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,079,241	3,137,527
電子記録債務	2,776,289	2,936,881
未払法人税等	178,147	130,500
賞与引当金	152,424	123,154
役員賞与引当金	57,400	17,300
その他	941,886	1,162,956
流動負債合計	7,185,389	7,508,320
固定負債		
繰延税金負債	37,761	49,181
退職給付に係る負債	669,546	658,499
その他	192,068	244,390
固定負債合計	899,375	952,072
負債合計	8,084,764	8,460,392
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,825,671	1,825,671
資本剰余金	1,611,240	999,611
利益剰余金	28,204,211	28,401,903
自己株式	△287,187	△287,422
株主資本合計	31,353,935	30,939,763
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	397,785	528,850
為替換算調整勘定	3,345,879	3,704,501
退職給付に係る調整累計額	42,398	40,452
その他の包括利益累計額合計	3,786,064	4,273,804
非支配株主持分	425,039	441,809
純資産合計	35,565,039	35,655,377
負債純資産合計	43,649,803	44,115,769

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	8,276,907	9,278,562
売上原価	6,289,393	7,409,851
売上総利益	1,987,514	1,868,710
販売費及び一般管理費	1,430,278	1,515,012
営業利益	557,235	353,697
営業外収益		
受取利息	8,148	12,962
受取配当金	17,606	21,786
持分法による投資利益	12,125	3,332
為替差益	4,094	—
作業くず売却益	18,073	14,246
補助金収入	17,679	5,918
その他	4,802	6,169
営業外収益合計	82,530	64,416
営業外費用		
支払利息	2,433	1,757
為替差損	—	18,965
自己株式取得費用	967	—
その他	571	126
営業外費用合計	3,972	20,849
経常利益	635,793	397,264
特別利益		
固定資産売却益	311	793
特別利益合計	311	793
特別損失		
固定資産除却損	672	296
在外子会社資金流出事案に伴う損失	—	281,451
特別損失合計	672	281,748
税金等調整前四半期純利益	635,433	116,309
法人税、住民税及び事業税	171,734	127,635
法人税等調整額	4,739	6,936
法人税等合計	176,474	134,571
四半期純利益又は四半期純損失(△)	458,959	△18,261
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,789	4,786
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	452,169	△23,048

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	458,959	△18,261
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17,464	132,607
為替換算調整勘定	1,207,308	370,604
退職給付に係る調整額	△1,018	△1,946
持分法適用会社に対する持分相当額	761	△1,542
その他の包括利益合計	1,189,587	499,722
四半期包括利益	1,648,546	481,461
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,611,539	464,691
非支配株主に係る四半期包括利益	37,007	16,769

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	米州	中国	アセアン	欧州	台湾	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	4,085,345	1,791,983	1,380,532	720,782	298,263	—	8,276,907	—	8,276,907
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	501,016	815	27,326	43,182	—	200,003	772,344	△772,344	—
計	4,586,362	1,792,798	1,407,858	763,965	298,263	200,003	9,049,251	△772,344	8,276,907
セグメント利益	150,480	84,000	180,672	99,402	72,272	12,378	599,205	△41,970	557,235

(注) 1. セグメント利益の調整額△41,970千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	米州	中国	アセアン	欧州	台湾	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	4,509,644	2,786,520	835,686	782,050	364,661	—	9,278,562	—	9,278,562
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	502,897	622	30,302	15,173	—	291,557	840,553	△840,553	—
計	5,012,541	2,787,143	865,988	797,223	364,661	291,557	10,119,116	△840,553	9,278,562
セグメント利益	76,767	60,593	378	96,751	1,588	8,326	244,405	109,292	353,697

(注) 1. セグメント利益の調整額109,292千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(特定子会社の設立)

当社は2023年7月28日開催の取締役会において、中国広東省広州市に新たな連結子会社を設立することを決議しました。なお、当該子会社の資本金の額が当社の資本金の額の100分の10以上に相当するため、出資が完了しますと当社の特定子会社に該当します。

(1) 子会社設立の目的

中国における自動車部品の販売事業は、現在上海市に本公司を置く、当社の連結子会社である大橋精密件(上海)有限公司が担っておりますが、得意先は広州及び武漢を中心としております。

当社は既に中国では連結製造子会社2社を広州市に有しており、今後、当社グループとして広州地区を中心に製販一体による更なる事業拡大と経営の効率化を図ることを目的に、広州市に本公司を置く新たな連結販売子会社を設立することとしました。

(2) 設立する子会社の概要

①名称(予定)	大橋精密件(広州)有限公司(仮称)
②所在地	中国広東省広州市 広州経済技術開発区 永和経済区永盛路7号
③代表者の役職・氏名	董事長 総経理 寺井 誠
④事業内容	自動車関連部品の仕入・販売、輸出入業務
⑤資本金	6,000千米ドル(約840百万円相当額)
⑥出資比率	当社100%
⑦設立年月日	2023年9月上旬(予定)

3. その他

(在外子会社資金流出事案に伴う損失)

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

当社の連結子会社であるOHASHI TECHNICA MEXICO, S. A. DE C. V. における資金流出事案に伴う損失であります。